

本連盟は、各種大会に向けてチームの組織の育成強化と会員の更なる拡大を重点課題においております。更に競技力を向上させるため、市内企業に対し選手の出場協力と発掘を積極的に行い、アマチュアスポーツの健全な普及と発展を目指しています。

今後も市民のスポーツへの関心を深め、スポーツを通じ心身とも健康で明るい市民生活の発展に寄与するとともに、競技力向上をより一層推進していきます。そして、各種大会やスポーツ教室、県民スポーツ大会などへの選手派遣、そしてスポーツ少年団の育成に努め、ライフステージに沿った場の提供に努めております。

◇第42回可児市総合体育大会

可児市総合体育大会の充実を図る一環として、事業年度初めである4月23日(日)に、総合開会式を新型コロナウイルスに対する予防対策を充分にとりながら、参加人数を縮小して開催した。

また、席上では、優秀指導者1氏、優秀選手12氏、優秀チーム3団体に表彰状を授与した。

【地区対抗方式】 弓道、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、クレール射撃、軟式野球、バドミントン、剣道、ゴルフ、サッカー

【選手権方式】 柔道、ウェイトリフティング、ソフトテニス、卓球、アーチェリー、テニス

◇第53回可茂地区体育大会

- ・ 6月25日(日) バレーボール、軟式野球
- ・ 7月 2日(日) ソフトボール、弓道、クレール射撃
- ・ 7月 8日(土) 柔道
- ・ 7月 9日(日) ソフトボール、バスケットボール、サッカー、テニス
- ・ 7月16日(日) 卓球、ソフトテニス、バドミントン
- ・ 7月23日(日) 剣道
- ・ 7月30日(日) 陸上競技

◎選手派遣234人

◇第15回県民スポーツ大会

9月17日(日) 総合開会式：アテナ工業アリーナ

◎選手派遣313人

優 勝	準優勝	第3位
卓球	ホッケー	自転車
ボート	馬術	少林寺拳法
ソフトボール	弓道	
グラウンド・ゴルフ	テニス	

第4位 ウェイトリフティング、パワーリフティング

- 第5位 クレー射撃
- 第6位 水泳、バドミントン、ボウリング
- 第7位 剣道
- 第8位 軟式野球

◎総合得点及び順位

第1位	大垣市	207.5点
第2位	岐阜市	178.75点
第3位	各務原市	122.5点
第4位	可児市	102.5点
第5位	関市	92.5点
第6位	土岐市	92点

◇第66回可児駅伝競走大会

会場をぎふワールド・ローズガーデンの園内を周回するコースへ変更して2回目の開催となった。

第1部・第2部は1周2.4kmを5人(1人1周)の計12km、第3部から第5部は1周1.6kmを4人(1人1周)の計6.4kmと設定し、前大会より距離を延長し実施した。

第1部高校生以上男子3チーム、第2部中学男子4チーム、第3部一般21チーム、第4部高校生以上女子3チーム、第5部中学女子4チームの合計35チームの参加申込があり、盛大に開催した。

◇第40回可児シティマラソン大会

○ハーフ (21.0975km)

1部	高校・一般30歳未満男子	40人
2部	一般30歳から40歳未満男子	97人
3部	一般40歳から50歳未満男子	139人
4部	一般50歳から60歳未満男子	152人
5部	一般60歳以上男子	77人
6部	高校・一般女子	102人

○2.8km

7部	中学男子	4人
8部	中学女子	4人

○4.2km

9部	高校・一般40歳未満男子	22人
10部	一般40歳から50歳未満男子	17人
11部	一般50歳以上男子	40人
12部	高校・一般女子	48人

○1.3km

13部	ジョギング	315人
-----	-------	------

申込人数合計 1,057人

新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となった今大会。開催時期をこれまでの2月から6月開催へと変更し、市制施行とともに40回を迎える記念大会でもあ

ることから、ハーフマラソン（21.097km）の部を新設し開催した。ハーフマラソンの部を新設するにあたり、前年（令和4年）より実行員会を新たに立ち上げ、コース及び距離を競技性だけでなく、だれでも楽しんで参加できる大会となるよう企画と検討を重ねた。

大会当日はあいにくの雨となったが、中学生、高校生を中心とした学生ボランティアの協力を得て運営し、心配された事故もなく盛大に開催できた。

◇指導者講習会

地域へ中学校部活動が移行していくことに主眼を置き、部活動やクラブ活動等で指導されている社会人指導者や今後携わる人を対象に開催した。講師に元中学校校長の山本峰明氏をお招きし、60名の参加があった。

◆会議関係

◎第1回定時理事会 5月16日（火）

- ・令和4年度事業報告及び計算書類の承認
- ・特定費用準備資金設置規則の一部改正
- ・役員賠償責任保険契約
- ・公益財団法人可児市体育連盟役員及び評議員の選任
- ・第2回定時評議員会の招集

◎シティマラソン運営会議・役員全体会議 5月25日（木）

- ・各系の役割について

◎第1回定時評議員会 6月3日（土）

- ・議事録署名人の選出
- ・令和4年度事業報告及び計算書類
- ・公益財団法人可児市体育連盟役員（理事）の選任
- ・公益財団法人可児市体育連盟評議員の選任

◎第1回臨時理事会 6月3日（土）

- ・業務執行理事選定

◎可児シティマラソン実行委員会 7月21日（金）

- ・大会事業報告
- ・決算報告
- ・次回開催について

◎第1回可児駅伝実行委員会 8月3日（木）

- ・区間距離の見直し
- ・予算の承認

◎第2回可児駅伝実行委員会 11月22日（水）

- ・参加申込状況報告、大会運営方法の確認（各係ごとの役割・配置）

◎総務委員会 1月16日（火）

- ・体育連盟表彰被表彰者の選考

◎第2回定時理事会 1月30日（火）

- ・令和5年度公益財団法人可児市体育連盟補正予算
- ・令和6年度事業計画及び収支予算の承認
- ・公益財団法人可児市体育連盟一般職員就業規程の一部改正
- ・可児青少年育成センターの設置及び管理運営に関する規程の一部改正
- ・令和5年可児市体育連盟表彰者の承認
- ・令和5年度第2回定時評議員会
- ・令和6年度第1回定時評議員会の開催（招集）

◎第2回定時評議員会 2月3日（土）

- ・令和5年度公益財団法人可児市体育連盟補正予算
- ・令和6年度公益財団法人可児市体育連盟事業計画及び収支予算

令和5年5月より新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられ、行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースとした対応に変わりました。

コロナと共存する新たな生活スタイルがスタートし、快適で安全なスポーツ活動ができる環境と場を提供するため、今年度もさまざまなスポーツ教室を企画し開催しました。

また、可児シティマラソンにおいては、約2年間の準備期間を経て、市制40周年を記念したハーフマラソンの部を新設し、関係各位の協力を得て、心配された事故もなく盛大に開催できました。

令和5年度は、可児市体育施設指定管理者として2年目となる年でしたが、これまで培った経験と知識を集約し、これまで以上に気を引き締め、管理・運営に尽力します。また、一人でも多くの皆様が「スポーツ」に対して興味・関心を持ち、“する・みる・支える”の観点で多様なスタイルでスポーツに参加していただき、スポーツを楽しむ機会を提供できるよう、また、安全で快適な施設運営と管理に努めてまいります。

当連盟が設立以来築き上げてきた加盟団体との組織体制を更に拡大・充実させ、「一市民スポーツ」を念頭に「競技スポーツの振興と競技力の向上」「生涯スポーツの普及と振興」に資し、コミュニティスポーツの振興や、市民の体力の向上と健康増進を図るスポーツ愛好者を広げ、スローガンである「示せ躍進 広げようふれあい 可児市体連」をモットーに『住みごこち一番・可児』のための積極的なスポーツ事業推進に向けて努力してまいります。